

平成21年10月2日発行 【第2号】

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

(このニュースレターは朝日連峰保全協議会会員各位と合同保全作業に参加頂いた皆様にお送りしています。)

発行者:朝日連峰保全協議会

■朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

平成21年9月26日(土)~27日(日)、朝日連峰の銀玉水上部で、平成21年度の合同保全作業が行われました。今年5月22日の朝日連峰保全協議会議の発足後、初の合同保全作業となるものです。今回の作業箇所は、銀玉水上部の急斜面部分で、雨水集中による侵食と踏圧等による登山道利用によって、現在も荒廃が進行している箇所が選ばれました。

作業の概要としては以下のとおりです。

9月26日、古寺鉱泉に集合し、古寺山経由で銀玉水上部まで緑化ネット、土嚢袋、スコップ等の資材の荷上げを行いました。大朝日小屋に到着後、緑化ネット固定に使用するペグを番線から加工する作業を行いました。

9月27日の作業概要は以下のとおりです。

- ・ 歩行路を固定する為、現地の転石を用いてステップとなると石の設置と、登山道の際に石を設置する作業を行いました。
- ・ ガリ-侵食部に土砂を堆積させるため、麻製土嚢袋と現地の転石を用いて土留め工を設置する作業を行いました。
- ・ 裸地部に緑化ネット8巻(1巻 1.2m×30m)を敷設する作業を行いました。ネット敷設後は風で飛ばされないように番線を加工したピンでネットを固定し、微地形効果と重しを兼ねて、転石を置きました。



出発前の挨拶 渋谷啓代表(西川山岳会会長)



作業前に参加者で施工方法を検討します



現地の転石を用いて歩行路にステップを設置



歩行路誘導の柵を設置



緑化ネットを敷設



作業終了後、全員で施工箇所を確認しました

作業時には、経験者がリーダーとなって場所ごとにグループに分かれ、現地の転石を運ぶ、石組みを設置する、緑化ネットを被せる、番線や転石でネットを固定する等、各自が役割分担をして作業を行い、予定していた作業全てを完了することができました。

今回の作業では、朝日山岳会と大江山岳会に計画の受皿になって頂き、作業計画の決定、当日の指揮監督等、子細に渡ってご尽力頂きました。

秋田や福島等の遠方からの参加者もあり、また当日に飛び入りで作業に参加して下さった方もおりました。山形県山岳連盟には事前に緑化ネット4巻の荷上げにご協力いただきました。

今回の作業に関わって頂いた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、また様々な形で関わって下さった地域関係者皆様の心意気に、厚くお礼申し上げます。

(当日は、19団体、39人の参加がありました)

【発行者】

朝日連峰保全協議会

(事務局) 羽黒自然保護官事務所(佐藤、佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp